29とJK 6
にじゅうきゅう と じぇーけー
とらのあな限定 スペシャルショートストーリーリーフレット

「動画配信者と真織」

俺と夏川真織は、十三も歳が離れている。

歳ばかりではない。趣味もまるで違う。話が合わないことばかりである。

「よく見る配信者？　『ジョーブログ』かな」

立川駅前のドーナツ屋店内で、向かいに座る彼女は言った。

「そりゃまた、すごいアウトローなやつ見てるな」

ジョーブログは、いかにもヤンキーな見た目の金髪兄ちゃんのチャンネルである。やってる企画は過激そのもの。世界を放浪して悪名高いスラム街や犯罪都市などの危地に飛び込み、その様子を動画にしている。過激な面も確かにあるが、こういう放浪の旅、ちょっと憧れる。男の子だもん。

「ちょっと憧れるよね、ああいう危険と隣り合わせの旅って」

「……まぁ、うん」

正真正銘女の子のはずだが、感性は男の子に近いようだ。

「私もいつか世界を旅してみたいな。別にスラム街じゃなくていいから、自由に旅したい」

砂糖のかかった揚げドーナツを、真織は幸せそうに頬張った。彼女なら実現してしまうかもしれない。放浪のＪＫ。いや、そのときはＪＫじゃないか。

「それにしても、お前も動画とか見るんだな。あんなのくだらないって言うかと思った」

「私をなんだと思ってるの？　ふつーに見るよ。手続きもお金もいらないんだし」

それもそうか。俺と違って、こいつはスマホネイティブ世代。身近に動画サイトがある環境で育った。くだるくだらないじゃなくて、普通に、身近に、あるものなのだ。

「Ｖチューバーは見ないのか？　キズナアイとか」

「あれ系は見ないかな。良さがわかんない。キャラクターのお面をかぶる意味って何かあるの？　普通に顔出ししてしゃべるんじゃ駄目なの？」

一理あるが、俺の見解は違う。

「キャラのお面をかぶった人間が、時折覗かせる『お面の下』が面白いんだよ。生配信でしゃべってたら、どうしても『中の人』のキャラが滲むからな。そこが、面白い」

ふうん、と真織は頷いた。

「槍羽さんが言うと説得力あるね」

「そうか？」

「普通の社会人みたいな顔して、仮面の下では女子高生に鼻の下を伸ばしてるところがね」

「仮面ってのはそういう意味じゃねえよ！」

どうも、仮面より偏見のほうが問題であるようだ。

とらのあな
COMIC TORANOANA
GA文庫
2019.05　GA文庫『29とJK6 ～あなたの隣を歩きたい～』　©裕時悠示/SB Creative Corp.　イラスト：Yan-Yam